



第9回フォトコンテスト最優秀作品「花火 (組写真)」西中須 盈 (自治労：全国一般)



連合長崎

会長 小石 隆

新年明けましておめでとうございます。

皆様には健やかで希望溢れる新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は県知事選挙から参議院選挙と大きな選挙を大変厳しい環境の中で戦うなど皆様方には大変なご尽力を賜りました。改めて感謝申し上げます。

選挙結果は厳しく、とりわけ参議院選挙の敗北は「ネジレ国会」という状況を生み出し、国民が長く待

ち望み期待した民主党政権を揺さぶり続けています。内閣への支持率も急激に低下してきています。一度失った信頼を取り戻すのは容易なことではありません。信頼を取り戻すには、その時々への対応に終始するのではなく、中長期的なビジョンのもと、その実現への道程を明らかにしつつ、果敢に実行することが必要です。加えて最も大切なことは政権交代に託した国民の期待を今一度思い起こすことでもあります。

このような厳しい政治環境下本年4月には統一自治体選挙を戦うこととなりますが、情勢が厳しければ厳しいほど組織の力量が問われることとなります。私たち自らが地方から社会を変えるとの強い思いを持って連合長崎組織内候補そして推薦候補全員の必勝に向け全力を傾注しましょう。

二点目は、2011春季生活闘争です。

わが国経済の先行き不透明感が続く中で、労働者の生活は格差が拡大し、低年収層が大幅に拡大するなど一段と厳しさを増しています。今、求められているのは低下を続ける賃金を速やかにピーク時の水準まで回復することであり、国際競争力強化、市場原理主義の下で最も犠牲になってきた非正規労働者の雇用と生活の向上を図ることです。経営側には公正な配分を求めること、そして私たちが「すべての働く者のために」という共通の目標を掲げて行動することです。その第一歩はまず自分達の職場にも多くの非正規労働者が働いている現実を見つめ、「労働組合」が自らの課題として取り組む必要があります。そのことが非正規労働者へのエールとなり、信頼を高めることにも繋がるのです。歴史の転換点に立っている今、労働運動の本来的な存在意義の発揮こそ、私たちに期待されているものです。

連合長崎は昨年結成20年を迎えました。私たちは20年の歴史を大切にしながら、これからも社会の不条理に立ち向かい、「安心・安定・安全」の社会づくりを目指すこととします。日本社会は揺れ動いていますが、新しい木を植えれば根付いて大きくなるまで手間も時間もかかります。再び疲弊・閉塞した社会に戻してはならないとの思いを共有し、希望を持ってがんばりましょう。

皆様のより一層のご支援・ご協力お願いすると共に、2011年が幸多き年になりますようご祈念申し上げます。



日本労働組合総連合会
会長 **古賀 伸明**

新年おめでとうございます。
2011年は、パラダイムシフトを経て希望と安心の社会の実現に向け動き出す年です。

今、日本の社会で、多くの人は様々な不安を抱えながら生きています。さらに、人と人との絆が弱まることにより、不安はさらに増幅され、我が国の持続可能性はあらゆる面で脅かされています。

こうした課題を解決するために、労働組合は社会的

責任を果たさなければなりません。勤労者重視の政策・制度を実現するとともに、すべての働く者の生活改善・格差是正、均等待遇を図るべく取り組みを進めてまいります。また、私たち自身の力量を高めるべく、集团的労使関係の再構築に向け、組織拡大をより一層推進します。

このような継続した運動に加え、今年は「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた取り組みをスタートさせます。

誰もが働き、絆でつながることのできる社会が実現できるよう全力で取り組む決意を申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。



文部科学大臣
衆議院議員
高木 義明

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、大変お世話になりました。また参院選、平和集会、さらには成功裡に終えることができたUN I世界大会へのご尽力に、あらためて敬意を表します。

さて、我が国経済は依然として厳しい状況が続いていますが、今年こそ新成長戦略の本格実施など、景気の自律的回復、地域経済の振興に向けた道筋を確かなものとしていかなくはなりません。

今春には統一自治体選挙があります。

勤労者・国民の声を地方行政に反映させ、地域の活性化をはかるためには、連合推薦候補の必勝へ総力で取り組まなくてはなりません。

新しい年が、平和で希望あふれる年となりますよう、ご家族皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、変わらぬご指導ご鞭撻をお願いいたします。



参議院議員
西岡 武夫

新年を、私は、参議院議長として初めて迎えました。長崎県民の皆様のご支授と連合長崎のご理解によるものと、改めて心から御礼申し上げます。

政権交代が実現し、議会制民主主義の新たな改革の第一歩を踏み出して、一年半近くが経過しました。

しかし、現時点で、民主党に対する国民の皆様の評価は、かなり厳しいものがあります。

勿論、自民党の長期政権が残した負の遺産は、年金、雇用、巨額な国債発行残高、或いは、沖縄の基地問題解決を十数年間放置してきた責任など多岐に亘っています。

私自身も、その時その時の立場はどうあれ、責任を痛感します。

また、民主党が、これら自明の課題に何ら改革の方向性を見出せず、沖縄の基地問題にいたっては、事態をより悪化させていることも事実です。

私は、立法府が、立法を巡る議論を通じて行政府に影響を与えるだけでなく、議長職が、三権の間の緊張関係を維持しつつ、行政府に対して素直に意見を述べる慣習を作り上げたいと思っています。

このことを通じて、行政府と立法府が、日本の将来像を明示できれば、と、私は、参議院議長として、立法府の新たな道を模索しています。

何卒、本年も、よろしく願いいたします。



衆議院議員

山田 正彦

新年明けましておめでとうございます。

平素より我々の活動に対して一方ならぬご協力・ご支援を賜り誠にありがとうございます。

お蔭様をもちまして昨年は農林水産副大臣、農林水産大臣と歴任させていただき、現在は農林水産委員長を拝命いたしまして国会の場で職責を全うしております。地元である長崎のため

にも第一次産業の発展に取り組んでまいります。

現在我が国は、リーマンショックに端を発した不景気から未だ脱せず、雇用も不安定であり厳しい局面を迎えております。さらに言えばT P Pが盛んに議論されるなど、国の形そのものが問われる時期であると認識しております。我々は、国民の皆様の意見を賜りながら、政権交代を成しえた際の「国民の生活が第一」という初志を貫徹し、政権与党として着々と実現していきたいと思っております。

最後になりましたが、本年が皆様にとって飛躍の年となることと、組織のご発展を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



参議院議員

大久保潔重

新年明けましておめでとうございます。

連合長崎の皆様におかれましては、それぞれの気概や抱負を胸に、新しい年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様にご指導を賜りながらの国会活動も早いもので3年半が経過しました。参議院では厚生労働委員会や行政監視委員会(理事)に所属し、また党の新幹線整備や離島振興、港湾振興、歯科医療やドクターヘリなどの議員連盟で役員を仰せつかっております。

歴史的政権交代から約1年半。我が国は、円高・デフレなどによる不景気や雇用不安から未だ脱せず、更にはT P P問題や大臣の辞任、尖閣諸島問題や北朝鮮による韓国への砲撃等、様々な国内外の課題を抱えております。そんな中、我々は過去2回の国政選挙で掲げた「政治主導」「地域主権」「国民生活第一」の旗印を決して下ろしてはならず、政権与党の責任下において国民の皆様の負託に応えるべく困難に積極果敢に取り組み、国家と地域社会の明るい展望を開くべく努力してまいる決意でございます。

今後とも皆様のご更なるご指導、ご支援を賜りますよう宜しく申し上げ、本年が皆様にとりまして飛躍の年となりますよう、併せて組織のご発展を心から祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



衆議院議員

福田えりこ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

一昨年の解散総選挙では、皆様のお力のおかげで歴史的な「政権交代」が実現し、私も国会へと送っていただきました。皆様のご支援に対し、この場をお借りし改めて御礼申し上げます。

さて、先の臨時国会では、私の政治活動の最初の目標であった「肝炎対策基本法」を成立させることができました。

同法を手掛けることができたのは、「命をつなぐ政治」を掲げて戦った私を支えて下さった皆様のご支援のおかげです。法案の作成、与野党間の調整、全てが初めての経験でしたが、「命は待てられない」との思いで、国会内を駆け回りました。

今後も、現場の声をお聞きしながら、日々勉強させていただき、地域の皆様ひとりひとりの暮らしを守る「国民の生活が第一」の政治の実現に向け、県内、そして党内の国会議員の先輩方と力を合わせて頑張りたいと思っております。

本年もご支援、ご指導を賜れますよう、心よりお願い申し上げます。



衆議院議員

宮島 大典

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに2011年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の中央政治も多事多難の1年ではありましたが、中でも高木文科大臣、山田農水大臣・衆院委員長、西岡参院議長のご就任は大変喜ばしく、我々の大きな励みにもなりました。

一方政権交代後1年余り、国民の政治に対する期待は大きく損なわれつつあります。我々がなすべき事は、まず原点に立ち返ることだと思います。“総選挙の折、多くの皆様は何を期待し政権交代を実現したのか。その後訴えてきた格差社会の是正は進んだのか、働く仲間の皆様の暮らしは少しでも良くなったのか。”その事をしっかりと振り返りながら、国民が安心して過ごせる福祉社会の創造に向け全力を挙げるのが肝要だと存じます。

何卒今後共新しい政治の行く末をお見守りいただき、地方統一選の完全勝利に向け更なるご支援賜りますようお願い申し上げます。



衆議院議員

川越 孝洋

ご家族お揃いで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私にとって代議士として2度目の正月を迎えましたが、昨年を振り返ると知事選・参議院選をはじめ、皆様のご期待を裏切るような事が続き、新年早々ですがお詫び申し上げます。

一転して今年は民主党の原点である「国民の生活が第一」に立ち返り、皆さんに解りやすい政権運営をすることが第一と思います。時に4月は統一自治体選挙です。地方主権の時代を迎え、額に汗して働く者の声を地方行政に反映させ、元気な長崎県を築くため、公認・推薦候補全員の必勝を期して共に頑張りましょう。

この1年うさぎのように元気に飛び跳ねる明るく元気な年であることをお祈りし、新年のご挨拶といたします。



長崎県退職者団体連合会長

川村 力

民主党は菅首相（代表）のもとに結束し、国民の期待に応える政治を行うべし！元気な日本を復活する！のスローガンは、菅総理の旗印。厳しいねじれ国会は続くが400余名の国会議員団を束ねてリーダーシップをいかんなく発揮しつつ、官僚依存を廃し政治主導で新年度予算を編成。自公政権下で破壊された国民の生活を取り戻すために、大いに頑張ってもらいたい。特に、高齢者が期待し要望している「年金・医療・介護・税制」などの改革、改善を強く要望するものです。

昨年は、消えた年金に加え、消えた「高齢者」問題が大きな社会問題になりました。長退連は、中村知事に、高齢者（37万人）の生活実態調査と生活ネットワークの構築を要請しています。県政、市政、町政に、連合長崎の推薦議員を数多く送り込もうではありませんか！

うではありませんか！

明るく住みよい地域社会を作るため、現退一致で、4月の選挙に取り組みましょう！



長崎県知事

中村 法道

新年明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、おすこやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放映、ハウステンボスのリニューアルオープンなどが明るい話題となりましたが、労働関係では、UN I 世界大会の長崎での開催が大きな出来事でした。参加者が国内外から2,000名を超える大規模な大会を長崎で開催できたことは、今後の大きな財産になるものと思います。

私は、昨年3月に知事に就任して以来、「人が輝く、産業が輝く、地域が輝く長崎県づくり」を基本理念として掲げ、経済の活性化や雇用の創出に全力を挙げて取り組んでまいりました。

依然として厳しい経済雇用情勢が続いておりますが、本年も、引き続き、県内経済の活性化と雇用の確保・向上をはじめとして、医療・福祉・子育て支援等の充実や、地域が底力を発揮するための地域づくりへの支援などを積極的に推進し、活力に溢れ、生きがいを持って暮らせる長崎県づくりに、全力を挙げて取り組んでまいります。

本年が、皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

「最低賃金の啓発」・「なんでも労働相談ダイヤル」街頭行動

12月8日(水)浜町アーケード大丸前において、「最低賃金(642円)の引き上げと最低賃金より低い賃金は法律違反」であること等の啓発と「なんでも相談ダイヤル」の啓発を行うため、街頭行動を行いました。

街頭行動は「最低賃金に関する事項」の周知と「なんでも相談ダイヤル」の電話番号「0120-154-052」を周知するための街頭行動であり、連合長崎と長崎地協の執行委員20名が参加し、18時15分から19時までアーケードを歩き交う方たちへチラシとポケットティッシュを配布しました。



● 政策制度要求書提出 ●

12月22日(水)連合長崎は、15分野45項目の2011年度政策制度要求書を長崎県に対し提出しました。また、本年から国に対しても民主党長崎県連を通じて政策制度要求を行うこととしているため、長崎県に要求書を提出後、11分野31項目の2011年度政策制度要求書を民主党長崎県連・渡辺幹事長に提出しました。

中村知事からは、「後日、文書で回答したい。」と前置きしながら、「雇用・経済政策、離島・半島地域へ

の振興等しっかりとした対策を行っていきたい。」との答弁がありました。

民主党長崎県連・高比良末男県議からも「連合長崎の声を国にしっかりと届けたい。」との答弁がありました。

今後、回答を再協議し、再提出が必要であれば、政策制度実現に向けた取り組みを強化していきます。



速報242号 記事の訂正

5ページ「2011年度連合長崎執行体制・事務局担当業務」

執行委員(非専従)の自治労連の山田充哉様の名前を誤って山田允哉様と記載していました。お詫びして訂正させていただきます。

— 新年あけましておめでとうございます —



副会長
近藤 富彦
(自治労)



副会長
江口 茂広
(基幹労連)



副会長
岩永 洋一
(J P 労組)



副会長
渡邊 昭吉
(UIゼンセン同盟)



副会長
田端 康弘
(電力総連)



副会長
宮崎 辰弥
(情報労連)



事務局長
森 光一
(基幹労連)



副事務局長
佐竹 明彦
(自治労)



副事務局長
松井 利明
(自治労)



副事務局長
浦本 和明
(基幹労連・佐世保地協)



副事務局長
本多 毅
(電力総連・長崎地協)



副事務局長
入江 良美
(交通労連)



執行委員
松尾 悟
(サービス・流通連合)



執行委員
関山 明彦
(自動車総連)



執行委員
太田 清
(運輸労連)



執行委員
明石 佳成
(日教組)



執行委員
益満 政彦
(電機連合)



執行委員
藤澤 恒昌
(全駐労)



執行委員
野原 秀昭
(交通労連)



執行委員
富永 一夫
(都市交)



執行委員
牧添 正信
(海員組合)



執行委員
山田 充哉
(自治労連)



執行委員
酒井 啓介
(私鉄総連)



執行委員
江副 敏彦
(J R 連合)



執行委員
寺田 末人
(全自交労連)



執行委員
嶋 三郎
(国公総連)



執行委員
岩永 財
(全国ガス)



執行委員
高 靖文
(長崎私交通)



執行委員
峰 義彦
(長崎地協)



執行委員
菊永 昌和
(佐世保地協)



執行委員
岩口 修
(大東地協)



執行委員
東 隆司
(諫早地協)



執行委員
松本 久美
(女性委員会・自治労)



執行委員
森 優子
(女性委員会・JP労組)



会計監査
太田 吉弘
(日教組)



会計監査
川田 隆往
(電機連合)



会計監査
倉田 昌明
(都市交)



書記
深江 絵美
(連合長崎)



書記
草野 いづみ
(連合長崎)



書記
本郷 栄子
(佐世保地協)

2011年
みなさんとともに
頑張ります!
よろしくお祈いします

